

## 敵か味方か

マルコによる福音書九章38〜50節

やめさせてはならない。私の名を使って奇跡を行い、その後で、私の悪口は言えまい。私たちに逆らわない者は、私たちの味方なのである。(39、40)

弟子のヨハネが、自分たちの仲間以外の者が主イエスの名を使って悪霊を追い出しているのを見たのでやめさせました、と報告しました。ここには私たちが陥りやすい、「あの人は敵、この人は味方」という考え方が根底にあります。主イエスはこのとき、「やめさせてはならない」と言われました。ここには後の教会に対する戒めが込められています。純粹であろうとするために、自分たちとは違う者たちを徒に敵視してはならないということです。人を切り捨て、排除することによって自分たちの純粹性を保とうとするのは、教会の取るべき道ではありません。切り捨てるべき敵は外にあるのではなく、私たちの内側にこそあります。他者の中に敵ではなく味方を見つける寛容さと、自分の中に敵を見いだそうとする自己への厳しいまでのまなざしとを身につける者たちでありたいと願います。